

分担研究報告書

油症検診における眼病変の追跡調査

研究分担者 園田 康平 九州大学大学院医学研究院眼科学分野 教授

研究要旨 令和6年度油症患者の眼症状の発生およびその経過を調査した。

A. 研究目的

研究の目的は、油症患者の眼所見の把握および治療法の確立である。したがって、患者の眼症状を把握し、その症状、苦痛を除くことに関する研究である。

B. 研究方法

令和6年度の油症検診にて、九州大学病院眼科外来あるいは福岡県の油症一斉検診時に油症患者を診察し、眼所見および症状を把握する。

(倫理面への配慮)

本研究の解析結果においては、個人が特定できるようなデータは存在しない事を確認している。

C. 研究結果

油症患者の眼症状の発生およびその経過を調査した。眼科的所見として、眼脂過多、眼瞼浮腫、眼瞼結膜色素沈着、瞼板腺囊胞形成、瞼板腺チーズ様分泌物圧出の5項目を検討した。

D. 考察

受診者の高齢化が進み臨床所見は少なくなってきた。また、油症患者の眼科領域における臨床所見は徐々に軽くなっている。

E. 結論

今後も油症患者の眼科的所見の経過観察が必要である。

F. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし